

きずなの郷

第75号
2024 秋

発行 社会福祉法人 厚生協会

令和6年9月1日

第39回

ふれあい盆踊り

5年ぶりの開催。デフバスケットボール
女子日本代表チームも参加しました。

7月27日(土)、コロナ禍の影響もあり5年ぶりとなる第39回ふれあい盆踊りが開催されました。今回はスペシャルゲストとして、デフバスケットボール女子日本代表チームがお祭りに参加してくれました。4年に一度開催されている聴覚障害者の国際総合スポーツ大会、夏季デフリンピックが2025年に東京で開催されます。この大会の競技種目であるデフバスケットボールの女子日本代表チームが7月27日〜7月30日まで、新得町の支援を受け新得町内で強化合宿を行いました。ふれあい盆踊りにも前日入りした選手の皆様にご参加いただき、町民や施設利用者の皆さんと交流を図りました。

日本代表の監督、坂本知加良さんは帯広聾学校の教諭をされています。坂本さんの父である(故)坂本秀男さんは聴覚障害者で北海道ろうあ連盟の事務局長をされておられました。お母様も手話通訳士という家庭で育ち、坂本さん自身も幼い頃から手話を使われてきました。お父さんが連盟の事務局長をされていた時代の連盟長は、当厚生協会の創設者である田中皎一元理事長が務めており、連盟の打ち

合わせで新得町に何度も訪れていました。坂本さんご自身も何度となく一緒に来町されており、わかふじ寮とも縁が深い方でもあります。しかし、日本代表チームであっても合宿や遠征に係る経費のほとんどが自己負担であり、全国各地の選手が集まって合宿をすることは大変な事であるとの事でした。そのような状況をお聞きし、厚生協会としてデフバスケットボール女子日本代表チームを応援するため、今回の合宿に関わる交通費を助成させていただくことになりました。わかふじ寮利用者の方々の趣旨に賛同いただき、家族会から30万円、そして利用者自治会から10万円、厚生協会各施設より10万円の計50万円を今回の合宿の交通費等に使用していた、ためための助成としてふれあい盆踊りの開会式で贈呈式を行いました。

今年はお祭りの開催をお昼に変更し、地域の皆様や関係者の方々など沢山の方に参加いただきました。各協力団体の皆様による出店では、焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、アメリカンドック、綿あめやかき氷などの食べ物には町民の皆様にも無料

で提供され、利用者の皆さんも地域の皆様、デフバスケットボールチームの皆様と交流することができ、久しぶりの交流行事を楽しまれました。無事にふれあい盆踊りを開催することができたのは、各協力団体様、ボランティアの皆様、地域住民の皆様のご協力があったの事と思います。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

【協力団体】

新得町役場保健福祉課、新得町教育委員会、新得小学校、新得高等支援学校、新得町商工会青年部、狩勝高原太鼓、わかふじ寮家族会、新進会、手をつなぐ育成会、Neo B・F・D、共働学会、新得手話の会、サロントんぼほ

【踊り】

しんとく町女性の会、フラダンスサークル「ホ・アロハ」



▲フラダンスは利用者もデフバスケットチームの皆さんと一緒に踊りました。



▲外で食べるごはんは美味しい!



▲デフリンピック頑張ってください!



▲盆踊りの輪にデフバスケットチームの皆さんと一緒に踊りの輪に

【資材提供団体】
榎十勝漬本舗、新得物産㈱、(株)齊藤商店、(有)マキ電気、新得電気工事所岩倉、サンプラザ、日本ハム北海道販売㈱、第一包装資材㈱

令和5年度 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

■法人本部

令和5年度は、法人設立70周年を迎える年にあたり、記念事業として記念植樹、記念花火大会の実施、記念DVD、記念誌の製作を行った。又各事業所に関しても記念食事会などの記念事業を実施した。

法人運営に関しては、各事業所における収益の推移などにに基づき、富士道公認会計事務所からのご意見を頂きながら前年度の状況と比較する等の経営分析を図った。

職員の採用に関しては、新規採用が厳しい状況の中にあつて採用媒体を有効活用しながら、職員の充足に向けて取り組みを図った。外国人介護人材の採用については7月にミャンマーより新得やすらぎ荘に2名、屈足わかふじ園に2名、計4名、採用を行った。また以前より懸案事項であつた就職支度金支給制度の創設、職員の処遇については看護職員に対するオンコール手当を新たに設けた。

新型コロナウイルスに係る対策については、厚労省からの通知に沿つて感染予防の徹底、感染経路の遮断の観点から面会の自粛要請などの対応を行ったが、各事業所にて感染拡大（クラスター）が複数回に渡つて発生、デイサービスは臨時休業の処置も必要となつた。対策として各事業所の情報収集を図り、事業所間で応援職員の派遣、感染対応物品の対応等を行った。

このような状況の中、法人全体で経費削減に取り組むと共に、利用者サービスの向上と運営の安定に向け事業計画に基づき以下の事業を実施した。

理事会開催（7回）、監事監査（4回）、評議員会開催（3回）、顧問契約（松浦弁護士）、監査契約（富士道公認会計士）、事業活動支援業務準委任契約（一柳社会保険労務士）、本部各専門委員会（管理部、施設・在宅事業部、研修部）、地域における公益的な取組。

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、個別支援計画に基づき定期的なモニタリングを行い、支援内容の見直しを行った。

利用者の高齢化や障害の重度化への対応については、ケース会議などで作業面、生活面における情報の共有を図り、支援内容を検討し支援を行った。

定員充足に向けた取り組みについては、相談支援事業所等から利用希望者の情報収集や、高等支援学校等と連携を図り、体験実習の受け入れを行った。又、実施機関や道内の相談支援事業所に訪問し新規利用者の情報収集に努めた。

新得高等支援学校との連携については、年間を通して現場実習、校外作業学習の受け入れを行った。又、木育推進事業の誕生祝い品贈呈でも連携を図った。

障害者虐待防止については、虐待防止・身体拘束適正化委員会を定期的に開催、職員への研修等も実施していたが、3月に利用者に対する職員の虐待事案が発生した。被害利用者、ご家族に対する謝罪対応、事業所として再発防止に向けた対策を検討し対応を講じた。

新型コロナウイルス感染対策については、基本的な感染対策を遵守し感染予防に努めたが、5月、12月に施設内で感染拡大（クラスター）となり隔離対応などの感染対策を行った。設立70周年記念事業として11月に記念食事会などの記念事業を行った。施設整備についてはパン工場のトイレの設置工事を行った。

①介護・生活支援部門

個別面談は相談があつた場合に随時対応した。ケース会議についても定期的に開催し、利用者の状況から支援内容の検討などを行った。またモニタリングについても定期的に実施した。

②看護部門

新型コロナウイルス感染症については、法人の感染症会議の決定事項に基づき、対策を行った。

5月18日に入所利用者のコロナ感染が判明し、その後、感染が拡大し、5月23日には感染者が10名となりクラスターとなった。最終的には利用者24名、職員8名、計36名の感染となった。感染終息には22日間を要した。（6月8日終息）

又9月には職員の感染が数名確認されており、利用者との接触を含め、感染経路の確認、自宅待機の対応や抗原検査で陰性確認を行った。結果、通所利用者1名の感染が判明し対応を行った。

12月11日に入所利用者のコロナ感染が判明し、その後、感染が拡大し、12月12日には感染者が13名となりクラスターとなった。最終的には利用者25名、職員6名、計36名の感染となった。感染終息には15日間を要した。（12月26日終息）

ワクチン接種は7月21日（利用者・職員）、12月8日（職員）1月26日（利用者）に実施した。

③授産事業部門

今年度もコロナ禍において目標額に届かなかった部門もあつたが、事業全体の目標額を達成することはできた。

利用者の高齢化・重度化に対する作業内容の検討する取り組みについては、利用者個々の作業能力にあつた作業配置（ウエス作業への転換）や作業環境等の変更を行なうことは出来た。

今後も安定した生産に繋がる作業内容や工程等の見直しと事業全体の連携に努めると共に、状況に合わせた各事業における職員・利用者の配置見直しに取り組んでいく。

■わかふじ寮相談支援事業所

コロナ禍により対面での面会は自粛し、事業所よりご本人の状況などの情報収集を行い、ご本人の意向や希望、要望を確認しながら必要と思われる事柄について助言を行った。

又、サービス等利用計画書の作成については利用者の状況や事業所での支援状況を基に見直しを行った。

■共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域で落ち着いて生活ができる様に、「地域生活上のルール」や身の周りの事など自立した生活を送る事ができる様に支援を行った。食生活については家庭的で偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好や季節に合った献立で提供できる様に配慮した。

新型コロナウイルス感染対策については、マスクの着用や手指消毒など基本的な対応の徹底を図ったが、12月に入居者がコロナ感染となり、食事の個別対応などの感染対策を図った。

■新得白生舎

令和5年度の新得白生舎は授産事業において目標としていた「3年以内の黒字経営戦略」の最終年度を迎えた。目標を達成すべく洗濯方法の改善や光熱水費の節約をはじめ、商品単価の見直しを図るなど職員が一丸となって取り組んだ結果、当初の目標をクリアすることができた。また作業においても利用者個々の能力を最大限に引き伸ばすことによりひとり一人に自信が生まれ、「責任を持った仕事」として取組み、生産性の向上へと結びついたことも大きな要因となった。

利用者については上半期20名、下半期19名（利用開始1名・退所1名）でクリーニング事業を実施した。専門技術者が高齢のため後継者の発掘が近々の課題となっている。事業収入は42,099,754円となり、前年度対比で約6%の増収となった。（令和4年度 39,729,722円）

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令並びに各種通知に基づき、利用者の自立支援のためのソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいを持ち健全で安らかな生活ができるよう努めた。

個別型（※）として、利用者一人ひとりの心身状態を考慮しニーズに応じた介護保険サービスの提供に努めた。手話の普及と聴覚障害者養護老人ホームとしての役割については、町内学校手話授業への講師派遣や手話条例施行10周年記念式典等に参加することで、聴覚障害者に対する理解と手話の普及に努めた。

地域における公益的な取組みについては、2度のクラスター発生もあり実践には至らず情報収集のみとなった。新型コロナウイルス感染症位置づけ変更により、徐々に利用者の社会参加も図れる様になった。また、家族や各関係機関と連携を図り、利用者の多様性に沿った伴走型の支援に努めた。

ひまわり荘において長年にわたる多数の待機解消を図るため、町と連携し、緊急性が高い方の受け入れを行った。

※個別型とは、利用者介護保険サービス事業者が個別契約を結び介護サービスを受けるもの。

①介護・生活支援部門

個別型として効率的なサービスを提供した。また、毎月支援員ミーティングやケア検討会議を開催し、サービスの適正を図った。

②看護部門

4月帯広保健所主催「新型コロナウイルス感染症位置づけ変更後の対応について」の説明会に参加し感染対策に努めたが、9・1月にクラスターが発生した。ワクチン接種は5・10月に2回実施した。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和5年度に於いては新型コロナウイルス感染症のクラスターが2回（10月と1月）発生し、ゾーニングと感染対策を行った。利用者も定員満床とはなっておらず、終息以降に新規利用者獲得に向けて取り組んだが、収入減となった。感染予防対策により家族との交流行事ができず写真の送付や来荘時におけるの近況報告で行った。月々の行事も減っていたが、長寿の祝と誕生会は取り組んだ。

職員のスキルアップについては、WEB研修を活用し全職員に共有できるように行った

短期入所についても、感染対応期間中は新規受け入れを中止していた。

①介護・生活支援部門

利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

②看護部門

適宜状態観察バイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要に応じて医療機関の受診対応を行った。

■地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和5年度は外国人介護人材の受け入れが年度当初から遅れて7月からの採用となり就労が遅れが生じた。10月に併設の特養で新型コロナウイルス感染症が発生したため、クラスター時に感染症対策の応援を行った。

また、1月に新型コロナウイルス感染症が発生し、クラスターとなり感染対策を行った。また、急な勤務変更により時間外勤務の対応となってしまう、職員の体調不良等で定数配置と働きやすい環境整備、業務改善が十分に出来なかった。

利用待機者の減少により新規利用者の受け入れに、遅れがあったため定数に満たない時期があり減収となった。

①介護・生活支援部門

ユニットでの少人数のケアを実践し、モニタリングを実施、適宜ケアプランを見直しケアプランに基づいたサービスの提供に努めた。

②看護部門

適宜状態観察とバイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要時に医療機関の受診対応を行った。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

①高齢者訪問介護事業

利用者の望む在宅生活が出来るように必要な援助を相談し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるように努めた。さらに自立支援・介護予防の視点で日々の介護サービスを行う事が出来た。

また、新規の利用希望に対し人材不足によってサービスを提供できなかった経過があり、採用募集を行ったが新たな採用には至らなかった。

新型コロナウイルス感染症は5類へ移行後も、利用者及び家族へ予防対策の協力依頼を周知しながら対応した。

②障害居宅介護事業

利用者が居宅において日常生活を継続できるよう、自立支援の視点を持ちつつも利用者本位のサービスに努め、本人だけではなくその家族や環境も利用者が明るく生活する一因と捉えてサービス提供に努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

利用者の自立支援と状態悪化防止のために、利用者・家族の意向を尊重しながら、ケアマネジメントを行い、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、各サービス事業所との連携を図り、利用者にとって適切なサービスが提供されるよう調整を行った。

令和5年度も新得町（地域包括支援センター）及び他の居宅介護支援事業所等との連携を継続的に行うことで、当事業所への新規利用者の受け入れだけでなく、法人内施設へのサービスにも繋げることで、住み慣れた新得町から町外への転出することなく生活を送れるよう支援を行った。

災害発生時の地域連携のあり方について対応方法を統一するため、新得町内4ヶ所の居宅介護支援事業所共通の業務継続計画を作成し、協定書締結の準備を行った。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を継続できるよう、入浴および食事の提供、利用者が選択することのできる余暇活動の実施や生活動作に関連する機能訓練を実施した。

また、健康状態の確認やその他必要な日常生活の支援を行い、利用者が健全で安定した自宅での生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

利用者数の増加が見込まれない中、経営の安定化を図るため、9月から地域密着型へ移行した。

■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

地域での生活が継続できるよう身体機能訓練や日常生活動作訓練など総合的な支援を行った。また生活状況や家族関係を踏まえながら理学療法士や他職種が共同して策定したりハビリ計画に基づき、適切なサービス提供を行うことができた。

新型コロナウイルス感染症対策については5月の第5類への移行後も必要な感染対策を行った。

■日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぼぼ

自立した日常生活を営むことができるよう、生活などに関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練などのサービス提供を行った。

なかでも生活リハビリとして、歩行や段差昇降、衣服着脱、排泄等日常生活動作そのものをリハビリとしてとらえ、本人が有する能力に応じて適切な支援を行うことで能力の維持に努めた。

■屈足わかふじ園

法人の基本理念及び職員倫理綱領、行動規範を遵守、利用者の自立と人権の尊重を基本に、サービスの充実を図るよう努めた。

利用者への支援については、個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

職員の確保については、外国人介護人材を登録支援機関を通して、7月にミャンマーから2名を採用した。

行事について、新型コロナウイルスの影響を考慮して、利用者職員のみで規模を縮小するなど可能な範囲で実施した。また慰問などの受入は、6月から再開した。

1月4日、利用者1名が新型コロナウイルス感染症に罹り、その後利用者5名と職員6名が感染し、令和4年11月以来2回目のクラスターとなった。その際、施設内のゾーニング及び施設内療養などの対応策を実施して、1月28日にクラスターは収束した。

施設整備に関しては、中長期計画にある介護ソフトの導入に向けて複数の業者と事前協議を行った。また居室壁紙張り替えと、床板やトイレの跳ね上げ式手すりの修理などを行った。

①施設入所・生活介護

適宜モニタリング会議を開催し、計画の修正と見直しを行ってきた。支援計画の内容が確認しやすいように工夫し、日々の介護に反映するよう努めた。

②医療部門

コロナクラスター発生時には、必要に応じてリモートによる診察を受けることができ、指示をもらう事で適切な対応ができた。

■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の状態に合わせた適切な支援や介護サービス提供のため、個別支援計画書や介護サービス計画書の作成とモニタリングを定期的実施した。また必要時には関係機関や医療機関との連携を図り、より充実したサービスを提供するよう努めた。

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、利用者の意向に沿った十分な社会参加や地域交流等は出来なかったが、施設内で行える行事とクラブ活動の内容を工夫し、可能な範囲で余暇活動の機会を提供した。

感染症対策として日常の健康管理と施設内の消毒、手指衛生等を徹底し、必要な各種ワクチン接種を実施した。

利用待機者への定期的な意向確認や待機状況等の情報提供を行うことで、不安や戸惑いなく円滑に施設利用ができるように努めた。

①介護・生活支援部門

利用者とのコミュニケーションを図り、統一した介護サービスを提供し、信頼関係の確立に努めた。

②看護部門

毎日の検温と体調の確認及び状態観察を実施し、体調不良時は嘱託医へ報告と受診の対応を行った。また嘱託医の指示に沿って、専門医へ受診した。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法令を遵守し、特定施設介護サービス計画書を基に利用者の生活環境、能力に応じた訪問介護計画書を作成し、利用者が有する能力に応じた日常生活を営む事ができるようにサービス提供を行った。特定施設や他のサービス提供事業所と連携を密に取り合い、サービス内容の変更があった際は迅速に対応した。また、利用者の生活能力の維持・向上につながるサービス提供や事故防止に努めた。

令和5年度決算報告

令和6年3月31日

財産目録

(単位：円)

資産の部		金額
科目	摘要	
流動資産		1,028,317,151
固定資産		4,919,415,494
資産合計		5,947,732,645
負債の部		金額
科目	摘要	
流動負債		172,879,584
固定負債		308,385,320
負債合計		481,264,904
差引正味資産		5,466,467,741

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,028,317,151	流動負債	172,879,584
固定資産	4,919,415,494	固定負債	308,385,320
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	2,814,940,080
		その他の積立金	795,647,900
		次期繰越活動収支差額	1,841,379,761
資産合計	5,947,732,645	負債純資産合計	5,947,732,645

事業活動収支計算書

科目	金額
介護保険事業収益	489,673,410
老人福祉事業収益	286,287,362
就労支援事業収益	228,650,985
障害福祉サービス等事業収益	722,313,852
生活保護事業収益	22,512,840
その他の事業収益	20,647,121
経常経費寄附金収益	15,195,000
その他の収益	780,000
受取利息配当金収益	17,429
その他のサービス活動外収益	12,107,256
施設整備等補助金収益	3,360,000
固定資産受贈額	198,001
収入合計	1,801,743,256
人件費	1,052,722,201
事業費	293,861,577
事務費	221,831,291
就労支援事業費用	227,505,670
利用者負担軽減額	2,182,782
減価償却費	139,853,868
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 267,218,999
徴収不能引当金繰入	670,000
支払利息	571,524
固定資産売却損・処分損	7
国庫補助金等特別積立金積立額	180,645,443
支出合計	1,852,625,364
当期活動増減差額	△ 50,882,108
前期繰越活動収支差額	1,854,071,869
その他の積立金取崩額	791,837,900
その他の積立金積立額	753,647,900
次期繰越活動増減差額	1,841,379,761

資金収支計算書

科目	金額
介護保険事業収入	489,673,410
老人福祉事業収入	286,287,362
就労支援事業収入	228,650,985
障害福祉サービス等事業収入	722,313,852
生活保護事業収入	22,512,840
その他の事業収入	20,647,121
経常経費寄附金収入	15,195,000
受取利息配当金収入	17,429
その他の収入	12,107,256
施設整備等補助金収入	3,360,000
積立資産取崩収入	791,837,900
収入合計	2,592,603,155
人件費支出	1,052,844,201
事業費支出	293,861,577
事務費支出	221,831,291
就労支援事業支出	216,009,474
利用者負担軽減額	2,182,782
支払利息支出	571,524
設備資金借入金元金償還支出	9,948,000
固定資産取得支出	19,717,190
ファイナンスリース債務の返済支出	1,880,496
積立資産支出	753,647,900
支出合計	2,572,494,435
当期資金収支差額	20,108,720
前期末支払資金残高	863,374,580
当期末支払資金残高	883,483,300

花見記事

やすらぎ荘



▲焼きうどんの希望もあり、こちらも完食!

▼「おかわり!」の声もあり大満喫♪



【花見食事会(5/10)】

ひまわり荘



▲新得神社山のきれいな桜

▼花見といえばカラオケ♪



【花見食事会(5/7)】

わかふじ寮



▲5年ぶりにご家族が集まってお花見を開催しました。

▼翌日は母の日。ご家族にカーネーションのプレゼントです。



屈足わかふじ園



▲食堂でジンギスカンを堪能しました

▼屈足公園の桜が満開でとてもきれいでした。



【屈足公園花見(4/29)】

法人スポーツ大会

～厚生協会職員の間連帯と親善を目的に～

7月20日に、厚生協会の職員による法人スポーツ大会を新得町民体育館で行いました。法人スポーツ大会は、令和2年度以降はコロナ禍のため中止としていましたが、今年5年振りの開催となりました。

今年の競技は、わかふじ寮が用具を制作、販売している「フロアカーリング」です。各施設でダブルスのチームをつくり、全20チームが集い、5ブロックに分かれて対戦しました。参加した職員は熱戦を繰り広げるとともに、「他施設の職員と交流できて良かった」との声も聞かれるなど、職員同士の連帯と親善が深まったスポーツ大会となりました。



▲今年の競技は「フロアカーリング」



▲元気よく選手宣誓



▲狙いを定めて・・・それっ!

わかふじ寮 わかふじ寮施設研修旅行
～5年ぶりの旅行で大満足～

6月の恒例行事だった施設研修旅行が、新型コロナウイルスの影響もあり、実に5年ぶりに再会しました。

今回の旅行は、1泊2日で泊まりゆっくり癒される「十勝川温泉・ホテル大平原コース」と、日帰りで楽しむ「帯広動物園コース」「ボウリングコース」「鹿追やまべ園コース」の4コースに分かれて行われました。

1泊コースでは温泉で癒され宴会を楽しんだ翌日、いけだワイン城と音更町の道の駅で見学・買い物をおこないました。

帯広動物園コースはたくさんの動物とふれあい、またゴーカートで遊んだあとバイキングでたくさんの料理を楽しみました。

ボウリングコースは帯広のスズランボウルにてゲームを楽しみ、音更町の道の駅と柳月スイートピア・ガーデンで買い物をしました。

鹿追やまべ園コースでは、生け簀での釣り体験を行い、昼食は自分たちが釣った新鮮な魚をレストランで料理していただきました。

久しぶりの旅行で十勝管内のみでしたが、4コースの中から選択可能だったこともあり、皆さんとても楽しんでいただけたようです。



▲1泊コース いけだワイン城
久しぶりの旅行で仕事の疲れを癒して、みんなでピースっ!



▲鹿追やまべ園
たくさん釣ってひと汗かいたし、さあ食べるぞ!!!

わかふじ寮 日本財団から福祉車両の助成
「トヨタ・ハイエース」(リフト付き)
～感謝を込めて大切に使用～

日本財団様より助成決定を頂いておりましたトヨタ・ハイエース(リフト付き)が5月15日、わかふじワークセンターに整備する事が出来ました。

わかふじワークセンターは地域で生活されている方が通所されている事業所ですが、近年、利用者の高齢化により送迎を利用される方が増えており、又車椅子を利用される方もおられることからリフト付き車両の必要性が高まっていました。

この度、助成を頂いた車両は9名乗り(車いす2名を含む)で事業総額4,200,000円、助成額3,360,000円となります。

これから大切に使用させて頂きたいと思っております。日本財団様ありがとうございました。



▲日本財団のカラフルなマークが目を引きます。



▲車いすの乗り降りもラクラクです。

屈足わかふじ園 One Man Digital Orchestra
佐藤春美オールスターズ演奏会
～多様な楽器を演奏～

6月26日に、元自衛隊の佐藤春美さんによる通算11回目の演奏会を行いました。

佐藤さんは陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者としてご活躍をされておりましたが、定年を迎えられ退職後からは、サクソ教室・作曲・レコーディング・CD作成などを業務とする「佐藤春美ミュージックプランニング」を設立し、ご活動されております。

今回の演奏会でも、お一人でサクソやウィンドシンセサイザーなど多彩に楽器を操り、利用者さんの世代に合わせて演歌からアニメの主題歌などを演奏していただき、会場は大盛り上がりとなりました。また昨年同様に、サクソ教室に通う生徒さんも同行し、共奏されるなど演奏会に花を添えていただきました。

トークを交えて1時間ほどでしたが、利用者さん・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。来年もぜひよろしくお願ひします。



▲素敵な共奏も披露していただきました



▲拍手が絶えず、大盛り上がり!

屈足わかふじ園 希望食事外出
～好きな物を食べよう!～

屈足わかふじ園では、利用者の皆さんに食べたいメニューを聞き取り、町内外の飲食店にお連れして外食を楽しんでいただく機会を提供しています。

食事メニューは、ラーメンや焼肉、寿司などを召し上がっていただき、利用者の皆さんからは「おいしかった」「大満足した」など、お喜びの言葉をいただきました。



▲回転寿司、いただきます!



▲ボリューム満点の天井です!

やすらぎ荘 つりゲーム大会
～誰が一番多く釣れるかな?～

7月3日、施設のホールにてつりゲーム大会を実施しました。制限時間内に一番多く魚を釣った人が勝ち!というルールで、今年も多くの利用者の方々が参加され、皆さん優勝を目指して一生懸命に釣りを楽しまれていました。1位から3位までの方には賞状が贈られ、「本物みたいで面白い!」「またやりたい」という声も頂きました!



▲釣りゲーム大会の様子です



▲優勝おめでとうございます!

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘 天理教北新得分教会
窓拭きボランティア
～みなさんの温かいお気持ちに感謝～

4月29日、天理教の皆様28名にやすらぎ荘の窓ふきを行っていただきました。たくさんの方に参加いただき、施設の窓がとてもきれいになり、気持ちも晴れやかになりました。本当にありがとうございました。



▲高い所もきれいにして頂きました。



▲たくさんの子供たちにも参加していただきました。

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘 長寿のお祝い
～合同でにぎやかな お祝いに～

5月30日、養護と地域の合同で長寿のお祝いを行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、しばらく合同でのお祝いができず、今回が数年ぶりの開催となりました。今回は5名の利用者さんが長寿祝いを迎えられ、施設長よりプレゼントが手渡されました。これからも変わらず、健康で幸せな毎日をお過ごしください!



▲久しぶりに一緒にお祝いです



▲喜寿おめでとうございます!

ひまわり荘 家族との集い
～5年振りの開催～

6月29日、令和6年度ひまわり荘「家族との集い」を開催しました。令和元年に開催して以降、新型コロナウイルスまん延防止のため、家族との集いは中止し、利用者職員でお楽しみ会に変更し開催していました。

今年度、5年振りにご家族をお呼びして開催し、17組28名のご家族に参加して頂き、レクリエーション「新聞お手玉リレー」や「ひまわり荘〇×クイズ」、「令和5年度の行事の様子スライドショー」を行い、ご家族と共に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

新型コロナウイルスのまん延防止のため、食事は中止としましたが、来年度は食事会も開催できるようになれば良いと思います。



▲白熱の新聞お手玉リレー



▲ひまわり荘に関するクイズを出題

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

令和6年3月から
令和6年6月まで(敬称略)

【本部】

新得町 清野 静雄
安楽 耕司
千葉 照映
若原 恵子
高杉 政子
池田町 水上 武重
帯広市 福田 實
小樽市 金子 和令
釧路市 本城 容子
苫小牧市 佐藤 シゲ子
山口県柳井市 浜田 英之

【わかふじ寮】

新得町 山口 憲夫
川崎 勉
(株) ひらかわ
新泉寺
佐藤 勝博
山口 憲夫
新得寺
標茶町 大山 敏宏
浦幌町 豊富 悠友会
千歳市 木村 芙美子
苫小牧 木村 則敏
札幌市 奥田 澄江
札幌市 坂口 和成
青森市 鈴木 彥つ子
静岡県 扇 和稔

【屈足わかふじ園】

新得町 橋場 カズ子
清水町 中島 弘志
音更町 下田 進
上林 朝子
小野 みゆき
音更町 野々村 弘子

幕別町 大野 こずえ
足寄町 大平 トメ
浦幌町 林 幸子
池田町 小川 義成
別海町 川畑 幸男
帯広市 福田 實
札幌市 本田 公一
埼玉県 上林 絵里奈
塩谷 桂二

【ひまわり荘】

芽室町 守田 辰治
帯広市 太田 明子
札幌市 丹羽 静子
東京都 宝崎 桐江
埼玉県 高橋 香織
小山田 一秀

【やすらぎ荘】

新得町 筒井 輝行
高杉 政子
水上 武重
池田町 大西 佑子
札幌市 毛利 勇二
釧路市 本城 容子
苫小牧市 佐藤 シゲ子
東京都 佐々木 幸三・路子
愛知県 平松 優
岡山県 中岡 彩可

【新得やすらぎ荘】

石狩市 近江 豊江
札幌市 山本 元
多原 克彦
宝崎 桐江
札幌市 福土 博
岩見沢市 山本 壽雄

北見市 井深 三千代
喜茂別町 山本 太
帯広市 南 鉄也

更別村 森谷 孝子
音更町 三浦 那夫子
芽室町 宮本 富康
清水町 菊池 博美
後藤 幸雄
井上 幸夫
松浦 正明
石川 淳

新得町 佐々木 京子
早坂 ヨリ子
加藤 幸夫
杉本 明美
玉澤 利彦
猪早 静雄

【地域新得やすらぎ荘】

栃木県小山市 本間 豊
さいたま市 竹内 富子
江別市 角島 エミ子
石狩市 竹澤 孝一
札幌市 若原 和弘
釧路市 清水 京子
音更町 工藤 しのぶ
新得町 高橋 榮幸
佐藤 美幸
安楽 耕司
若原 恵子
高橋 茂敏
佐々木 次郎

【居宅新得やすらぎ荘】

新得町 那賀島 容子

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)
ssh5209@khaki.plala.or.jp (新得白生舎)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

新型コロナウイルスも5類に移行してから、以前の様な日常が取り戻されてきました。これまで開催できなかった、交流行事や施設旅行なども徐々に再開され、利用者の皆様も喜ばれています。一方では、水面下で感染者が増加しているとの報道もあり、町内でも感染者が発生しています。これからも利用者の皆様の笑顔を守る為、感染症を持ち込まないよう、広げないよう、引き続き気を引き締めていきたいと思っております。

秋のサービスセール

染み抜きも無料で行います♡

10月15日(火)～
11月30日(土)まで

クリーニング

スーツ上下 が 1,240円→ 870円
Yシャツ が 210円→ 150円
羽毛布団(s) が 5,610円→ 3,930円

※表示価格はすべて税別です。
別途消費税(10%)がかかります。
他の商品もセール対象ですが、じゅうたん・羊毛布団等の一部は除外させていただきます。
詳しくはお問い合わせください。



サービスセール中は混み合うため、2週間程度お時間をいただきます。何卒ご容赦ください。お急ぎの場合は、対応いたしますので、お気軽にお申し付けください。

クリーニングのことなら
社会福祉法人 **新得白生舎**
厚生協会
新得町西1条北1丁目 TEL: 64-5209
営業時間: 9:00～17:00 (月～金)
9:00～12:00 (土)
定休日: 日曜日・祝日

集配も行います。お気軽にお申し付けください。